

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対しては十分であり、その日の人数でスペース分けを工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			曜日等により人数は異なるが、適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		完全なバリアフリー化ではないが、現状のご利用者に対しては可能な限り適切な配慮をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		常勤職員の定例打ち合わせや、会議等で広く非常勤職員も参画しているが、さらに改善を図り、支援の改善に反映したい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		今回実施した保護者向け評価表の結果を踏まえて業務改善に繋げたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今回の自己評価結果については公開予定である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、機会を設けることにより改善したい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人研修委員会主催の講座も含め、各種の研修について周知、参加するようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的個別面談や保護者と情報共有の機会を持つことによってニーズ等を受け取り、支援計画にも反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	基本的な情報の聞き取りは行っているが、標準化されたアセスメントツールの使用により改善したい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		常勤職員が中心となり会議等の中で検討しているが、日々の詳細のプログラムについては、チームとしては実施できない事もある。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			期間的な見方と季節に合わせた内容等の点からプログラムの見直しを適宜行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		常勤職員の定例打ち合わせや、会議等で広く非常勤職員間でも検討しているが、細部の設定には至らない事がある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動の両面のバランスを含み作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日支援開始前の申し送りにて実施している。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		毎日必ずではないが、可能な限り当日に行い、翌日以降も随時職員間で共有するようにしている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録については徹底しており、支援等の振り返りとしても活用している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別支援検討会議等により、職員間で見直しの検討を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			基本活動の組み合わせを行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主として児童発達管理責任者が出席し、他の職員の場合には事前に必要な情報把握もを行っている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		保護者との連絡が多く、学校との連携は図っているが不十分な事もある。適切な送迎に向けて調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	ゴロゴロクラブでは現状該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		就学にあたっての小学生のご利用者が少ないが、経過の情報共有は行っていた。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必ず全員に対してではないが、情報提供を行う事が多い。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今後は助言や研修を受ける機会を多くもっていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後は連携を図っていきたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		法人職員が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		連絡ノートのやり取りや、状況に合わせ電話または直接お話をする機会を持つようになっているが、まだまだ不十分であると考えられる。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		具体的な支援方法としては実績は無いが、ペアレント・トレーニング研修を複数の職員が受けている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時を基本として行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		状況により、適宜相談を受けご家庭と相談のうえ支援に繋げるようにしている。しかし全体としてはまだ不十分である。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会を計画的に実施しているが、活動を支援したり保護者間の連携を図るところまでは至っていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合については、迅速に対応する体制を整えている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人広報誌を年間で定期的に発行しており、活動の状況も掲載している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の管理に対しては徹底するよう心がけている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			各ご利用者に適した伝達の仕方、活動内容や予定表等を工夫をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	機会があれば、積極的に行っていきたい。事業を近隣の方々に知っていただき理解を深めていく事も目標としている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		法人安全委員会のマニュアルを基本に周知している。ゴロゴロクラブの避難マニュアルも合わせて周知をさらに徹底していきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な言川練を行っているか	○			法人安全委員会の計画を基に定期的を実施している。近隣の方への周知により、連携や協力もいただけるように計画していきたい。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			権利擁護についての法人研修等に参加し、対応について職員間での共有を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		具体的な対応について、組織的な決定ではないが、職員間での共通理解を図り、個別支援計画にはその可能性について記載をし保護者に対しても説明を行っている。また、やむを得ない緊急時身体拘束等に関する説明書等の準備をしてある。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		前例の方の経過としては医師の診断に基づいて対応していた。現状は保護者の情報による対応である。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ひやりはっと報告書を職員が常時閲覧できるようにしており、会議等にて定期的に検証、共有を図っている。